



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'00 12月号

プラネタリウム

2001年の天文現象

21世紀最初の年、2001年の天文現象をプラネタリウムで解説しましょう。天文現象のうち、多くは太陽系の中の天体や天体どうしが引き起こす現象です。特に月が引き起こす現象は、ダイナミックですばらしい天体ショーが見られます。ここではそのうちから、2001年最初の天文現象、月が地球の陰に入り込む皆既月食を紹介しておきます。

1月10日の皆既月食

皆既月食はかならず満月のときに起こります。満月は地球から見て太陽の反対側に月が来るときです。そのとき、ちょうど太陽、地球、月が直線になるような位置になると、地球が作る日陰に月が入ることになります。1月10日、月が日陰に入る時刻は、日本では月が西空に回った午前3時ころからになります。少しずつ高度を下げながら進行し、4時50分に皆既月食となり、5時21分に最大、皆既終了は5時52分と、そのときは西空低い所で終わります。

2001年はこの他にも、

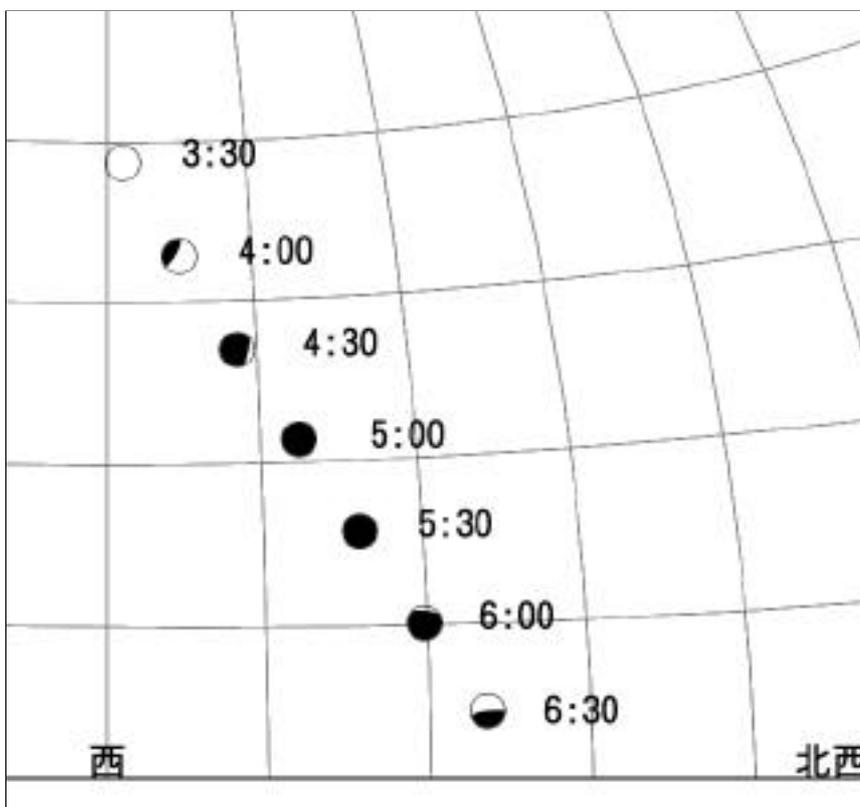
2月22日金星が最大光度（明るく輝くよいの明星）

6月22日火星準大接近（久しぶりに最大20.8秒角の大きさで見える）

8月16日の木星食（月が木星と重なる！）

11月18日のしし座流星群（日本で大出現？）

など興味深い現象が目白押し。詳しくはプラネタリウムでごらんください。



2001年1月10日未明の皆既月食予想図。目盛線は10°おき。黒い部分が影
(StellaNavigator/AstroArts.inc/ASII Corp.により作図)

投影期間：12月9日（土）～2月4日（日） 投影日：土、日曜日、12月27日（臨時投影）

投影時刻：11:00、14:00 投影開始（途中入場はできません）

観覧料：1人 100円

写真で見る20世紀の平塚(1)



さて、ここはどこでしょう？今ではすっかり様変わりして、とても同じ所とは思えないかもしれません。山並みに目をやるとピンとくるのではないのでしょうか。そう、湘南平です。山の所々がはげているのは、当時の農家はまだ草屋根なので屋根葺きに使うカヤバがあったり、戦時中に木を薪に伐り出したりしたためです。手前の松林は八雲神社の南側にあたり、今も名残をとどめています。したがって、田畑が広がる平地は桜ヶ丘あたりになります。たくさんの人が田んぼに出て、苗代から苗をとっています。牛を使ってシロカキをする様子も遠くに撮られています。撮影されたのは昭和26年、現在は大型店や住宅が建ち並ぶ桜ヶ丘も、50年前はこんなにのどかだったのです。

写真の撮影者である山本登さん（故人）は、昭和6年頃から写真撮影を始められ、とくに戦後復員してから平成にいたるまでの間に膨大な数のネガフィルムを残されました。その中には、平塚の風景や生活の様子を撮影した貴重なネガもたくさん含まれています。ご遺族の方々のご厚意で、現在博物館でネガを整理させていただいているのですが、あまりに数が多いためまだ全容を把握できていません。とりあえず、昭和40年以前に撮影された写真に限定して整理したところ、フィルムにしておよそ2,300本分のネガが確認できました。写真のコマ数にすると優に万を超える数になるでしょう。少なくとも年間で100本は撮影されていたこと

になります。ちなみに博物館の民俗担当者が一年に撮影するフィルムの本数は36枚撮りで約50本なので、見習わなければいけませんね。

山本さんは県の農業改良普及員をされていた関係で、農業の専門的な写真が多いのが特徴で、この他、県内各地の川や海、農村、富士山といった風景写真、婚礼など行事の写真、人物や旅行の写真などその領域は多岐に渡ります。当館では、高度成長期以前に平塚市内で撮影された写真を中心に選りすぐり、平成13年3月



田植えの日 昭和24年6月 岡崎村（部分）

に山本登さんの写真展を開催いたします。年輩の方ならきっと見覚えのある風景、若い方や新しく住まわれた方は平塚の原風景に出会える良いチャンス。21世紀最初の特別展は全市民必見の写真展です。どうぞご期待ください。

『近年出土の考古資料』開催

今年文化財保護法が制定されて50周年にあたります。前回の考古資料展「近年の平塚市内の緊急発掘調査の成果」から8年、平塚市内では平成4年度以降100件を超える発掘調査が実施され、多くの資料が蓄積されています。

なかでも注目されるのは、奈良時代から平安時代に市内に相模国府が所在していたことを裏付ける資料の数々。そして、北金目台地に展開する弥生時代の集落からは、大量の炭化米や「おにぎり状炭化米」など、全国的にも類例が少ない貴重なものも出土しています。

今回の展示では平成4年度以降、平塚市内で出土した考古資料の中から、21遺跡を厳選し、「平塚の古代米」「台地上の遺跡」「沖積低地の遺跡」の3テーマでご紹介します。



城山横穴群(平塚市岡崎)出土の鉄鏃・装飾品

会 期：平成12年12月 2日(土)～
平成12年12月24日(日)
会 場：平塚市博物館特別展示室(入場無料)
主 催：平塚市教育委員会
問い合わせ：平塚市教育委員会社会教育課(0463-35-8124)

プラネタリウムリーフレット 『銀河』が 100号

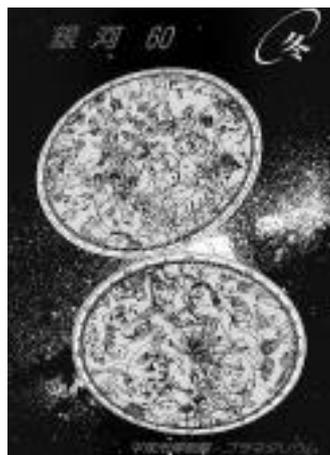
プラネタリウムを観覧する方に配布するリーフレット「銀河」(季刊)が、この冬号で第100号となりました。

第1号は1976年(昭和51年)の春号で、開館にあたり「科学する心を養って」という当時の菅間館長のあいさつなどが掲載されています。はじめは2色刷りでしたが、印刷技術の向上のおかげで、1993年夏の70号から現在のカラー印刷となり、美しい天体写真などをお届けできるようになりました。

みなさまのおかげで、25年間発行し続けることができました。これからも長く親んでいただけるようがんばりますので、よろしく願いたします。

(記念の第100号は、12月9日から2001年3月4日まで、土・日曜日の投影で配布します)

左：30号(1983年)
中：60号(1990年)
右：80号(1995年)



「銀河」第1号(1976年5月)

博物館カレンダー

2000年12月

1	金	古文書講読会	講堂
	☆	寄贈品コーナー「火と暮らし」 (～12月27日)	展示室
2	土	○ みんなで調べよう「身近な林調べ」	科学室
3	日	地質調査会	野外
7	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
8	金	古文書講読会	講堂
9	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		地質調査会	特研究室
		☆ プラネタリウム「2001年の天体現象」 (～2月4日)	プラネ室
10	日	民俗探訪会「学習会」	講堂
13	水	地質調査会	特研究室
14	木	石仏を調べる会	特研究室
15	金	古文書講読会	講堂
17	日	○ 体験学習「お飾りを作ろう」	講堂
		◎ ろばたばなしの会	展示室
		相模川の生い立ちを探る会	野外
20	水	裏打ちの会	科学室
21	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
22	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会「アルゴル」	屋上
		天体観察会「こぐま座流星群」 (～23日)	屋上
24	日	古代遺跡を探す会	野外

2001年1月

5	金	古文書講読会	講堂
	☆	寄贈品コーナー「考古」 (～1月30日)	展示室
6	土	民俗探訪会「八幡神祇の祭り」	相模原
11	木	石仏を調べる会	特研究室
12	金	古文書講読会	講堂
13	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		地質調査会	野外
14	日	民俗探訪会「セエトバライ」	湯河原
		○ 自然観察会「水鳥の観察」	酒匂川
17	水	裏打ちの会	科学室
18	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
19	金	古文書講読会	講堂
21	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		地質調査会	科学室
24	水	地質調査会	特研究室
25	木	石仏を調べる会	特研究室
26	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会「木星と土星・冬の星座」	屋上
		空襲と戦災を記録する会	特研究室
27	土	相模川の生い立ちを探る会	野外
		天体観察会「スターウォッチング」	屋上
		古代遺跡を探す会	科学室
28	日	民俗探訪会	講堂

☆寄贈品コーナー「火と暮らし」

暖房具や灯火具など火と関わりのある民具を展示します。
◆12月1日(金)～12月27日(水)

☆プラネタリウム「2001年の天文現象」

2001年にくりひろげられる天体ショーをひと足先にお見せします。◆12月9日(土)～2月4日(日)◆土・日曜日、12月27日(水) 11時、14時

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物をひろって、それらの生い立ちや自然環境について探ります。

◆12月9日(土) 9時30分～11時◆平塚虹ヶ浜海岸◆参加自由ですが初めての方は往復はがきで申し込んでください。折り返し集合場所等ご案内します。

○自然観察会「水鳥の観察」

川原に飛来したカモやカモメなどを観察します。

◆1月14日(日) 9時30分～14時◆酒匂川河口～飯泉堰付近◆往復はがきで12月25日までに博物館へ◆30名(多数の場合抽選)

◎ろばたばなし

展示室民家のいろいろばたで民話を聞きましょう。

◆12月17日(日) 13時30分、15時◆展示室◆参加自由

◎星を見る会「星の明るさとアルゴルの変光」

明るさを変える不思議な星アルゴルが変光するようすを追ってみます。また、土星、木星などを望遠鏡で眺めます。

◆12月22日(金) 19時～20時30分◆博物館科学教室・屋上

○体験学習「お飾りを作ろう」

一文飾り、輪飾り、玄関飾りなどの正月飾りを作ります。

◆12月17日(日) 10時～15時◆博物館講堂◆往復はがきで12月9日までに博物館へ◆50名(多数の場合抽選)

☆公募作品展「21世紀大予言・夢絵画展」

近未来に深い洞察を示した村井弦斎にちなみ、「よみがえる村井弦斎」展会中に公募した小中学生の未来予測絵画を展示します。

◆1月5日(金)～1月21日(日)◆特別展示室

★年末年始の休館日 12月28日～1月4日

(みなさま良いお年をお迎え下さい)

☆: 展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

あなたと博物館 25巻 9号 通算287号 発行 平塚市博物館 2800

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949

E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>